

第 54 回研究評価委員会に附議された評価報告書（案） に対する委員会コメントについて

第 54 回研究評価委員会（平成 29 年 12 月 13 日開催）に諮ったプロジェクト中間評価報告書 4 件及び事後評価報告書 1 件について、委員会における討議を踏まえ、以下のコメントを附記することで確定した。

1. 超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発（中間評価）

電力の 3 割削減及びCO₂削減等を明確に見通しつつ、選択と集中のもと技術開発を進められたい。また、国際競争力を確保し、日本製品が世界的により浸透する戦略を策定されたい。

2. 次世代構造部材創製・加工技術開発④・2、⑤（中間評価）

いずれのテーマも、開発戦略を先鋭化しつつ目標達成に向けて進められたい。さらに、NEDO の材料技術開発に向けた新たな考え方の追求が望まれる。

3. 高性能・高信頼性太陽光発電の発電コスト低減技術開発（中間評価）

太陽光発電に対する国民の期待は大きく、生涯コスト低減を含めて闘える戦略を持ち、国際競争力確保に向けた技術開発を進められたい。

4. 次世代火力発電等技術開発／次世代火力発電基盤技術開発(1)(5)・CO₂回収型クローズド IGCC 技術開発（中間評価）

火力発電技術開発における我が国の立場と存在感を国際的にきちんとアピールするための戦略を検討されたい。

5. 環境調和型製鉄プロセス技術の開発／水素還元活用製鉄プロセス技術開発（STEP2）（事後評価）

特許・ノウハウの取扱い等、知財戦略をより明確にして頂きたい。また、フェーズ 2 の開発を前倒しで進めるなど、世の中の情勢変化や技術・市場動向等に対応した柔軟なマネジメントが求められる。